

# 鹿島市肥前浜宿の次世代を担う子供たちの歴史的環境保存意識を育む一連の活動

## NPO 法人肥前浜宿水とまちなみの会

肥前浜宿は、佐賀県鹿島市南部の有明海沿いに位置する歴史的町並みで、長崎街道旧多良海道の宿場町でもあり、2007年にその内2地区が「酒蔵と居蔵造町家が建ち並ぶ醸造町」「茅葺町家と棧瓦葺町家が軒を連ねる在郷町」として同時に重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。肥前浜宿とは「浜」という地域名に「肥前」と宿場町の「宿」を組み合わせ付けてられた名前、地域ブランド名として商標登録されています。

肥前浜宿水とまちなみの会は、住民意識を高めることを目的として2001年に発足しました。それからの活動や関係機関のご尽力もあって重伝建地区選定にこぎ着けましたが、今日までの大きな取組として、熊本義泰会長を始めとする個々の会員の発想や技術およびネットワークなどの発揮により、次世代を担う子供たちの歴史的町並み保存意識を育むことに重点をおいた一連の活動を積極的に行ってきました。具体的には、2002年より毎年開催している「肥前浜宿スケッチ大会」、その作品を展示する「街角美術館」の他、絶滅危惧種ヤマノカミ等を観察する「浜川観察会」(2005)、浜小学校協力による旧乗田家保存修理工事の「体験学校」(2007年)、「子供町並みガイド」(2008年～)等です。業績賞の対象期間以外の「子供と一緒にまちづくり(ハウジングアンドコミュニティ財団助成)」や「鹿島商業高校・酒蔵ファッションショー」なども含めて、年中行事と単年度事業を織り交ぜて長年行っている。町やその環境をじっくりと見ることや、子供自ら大人の前で実践したり町使いをすることによって、町の素晴らしさを皆で共感し、町を誇り愛する心を育てる取組みである。これらの活動によって、これまで参加していなかった親子の町並み保存活動への協力や若者の取組も生まれつつある。(文責：理事・三島伸雄)

### 肥前浜宿スケッチ大会／街角・酒蔵美術館

浜町に美術愛好の気風を育むと共に、町並みを描く事で風土に根ざした歴史的建築に理解・好感を持ってほしいと願って始めました。5月下旬に開催し、年々参加者が増え今では概ね650人の参加があります。全作品を町並みや酒蔵に展示します。

主催：肥前浜宿水とまちなみの会  
鹿島市美術人協会  
開催時期：毎年5月下旬日曜日  
街角・酒蔵美術館 ～6月  
参加者：(平成22年度)629名



肥前浜宿スケッチ大会



街角に展示中の子供たちの作品



街角美術館



酒蔵美術館

### 浜川観察会 (2005年)

肥前浜宿の中を流れる浜川には、日本では九州の有明海湾奥部とその流入河川に限られ生息している絶滅危惧種「ヤマノカミ」がいます。諫早湾潮受堤防の閉鎖後、絶滅の危機に瀕しています。私たちは浜小学校の児童を対象に浜川観察会(浜川清掃を同時開催)を実施し、ヤマノカミの研究者碓井利明先生(国見高校)を講師として、浜川の生態とその保護について勉強しました。子供たちは、浜川の珍しい魚たちに驚いていました。

主催：肥前浜宿水とまちなみの会(佐賀県支援事業)  
同時事業：浜川清掃  
開催時期：平成17年8月  
参加者：浜小学校児童約30名



浜川観察会



浜川の魚などを観察する子供たち

### 旧乗田家保存修理工事「体験学校」(2006年)

平成19年、「旧乗田家住宅」の修理が完成しました。江戸末期の茅葺武家屋敷で、東京の篤志家からの高額の寄付をいただき(受入機関：佐賀大学、鹿島市)、所有者の乗田氏からの建物寄贈を受けて、着工しました。修理に際しては体験学校を企画し、地元小学校4・5・6年生が荒壁塗りや土間タタキ、地域の小学校低学年生が竈づくりを体験しました。

旧乗田家住宅は、着工時に鹿島市重要文化財の指定を受け、完成してからは水とまちなみの会が所有して、文化塾や催事に利用し、維持管理をしています。

主催：肥前浜宿水とまちなみの会  
協力：富久千代酒造(竈づくり体験)  
助成：芸術文化振興基金助成事業  
開催時期：平成18年7月27,28日、11月30日  
参加者：浜小学校4～6年生、地域の小学生



体験学校(土壁塗り)



体験学校(竈づくり)

### 子供町並みガイド (2008年～)

肥前浜宿水とまちなみの会ガイド養成講座の一環としてこどもガイド育成に取り組み、5名程度が挑戦しました。その中から、中島姉妹がガイドを手伝うことがきっかけとなり、浜小学校の総合学習でもとりあげられました。



子供町並みガイド(総場にて)



中島姉妹